（別添資料1）

事業所名	アーヤ本巣	支援プログラム（児童発達支援　単位1）	作成日	7 年	6 月	1 日

法人（事業所）理念		食育を通して子どもたちの豊かな心を育みながら自立と社会性を身につけ、お子さまと保護者様の安心と喜びを増やす
支援方針		・ひとりひとりの発達段階や特性に合わせた支援を行う ・遊びや活動の中で必要な動作や行動を習得できるようサポート ・地域の保健・医療・福祉サービスと連携し、子どもを多面的に支える
営業時間		平日 10時 00分から 18時 30分まで 土日祝・学休日 10 00 17 00 送迎実施の有無：あり（○）　なし
		支　援　内　容
食育		・食材に触れたり、匂いをかいだり、色や形を観察するなど、五感で楽しむ体験活動 ・簡単な調理体験や盛り付け体験を通して「自分でできる楽しさ」を実感 ・食べ物の名前や色、形を覚えながら、自然に食への興味を育てる ・食事のマナーや順番を守るなど、集団での食事の体験をサポート ・家庭と連携し、家庭でも遊び感覚で食材に触れる工夫や食習慣づくりを支援
本人支援	健康・生活	・手洗いなどの衛生習慣を遊びや活動の中で身につける ・活動中の安全確保や身の回りの整理整頓を学ぶ ・安心して活動に取り組める環境づくり
本人支援	運動・感覚	・基本的な運動能力を育む遊び（走る・跳ぶ・投げる・バランス遊びなど） ・感覚遊び（触覚・視覚・聴覚・味覚・嗅覚）を通して感覚の発達を促す ・個々の興味に応じた体を使った遊びや課題遊び
本人支援	認知・行動	・色・形・数・時間などの認知を遊びの中で学ぶ ・簡単なルールや指示を理解して行動する練習 ・興味や特性に合わせた課題や遊びで集中力を育てる
本人支援	言語 コミュニケーション	・言葉やジェスチャー、絵カードなどを使ったやり取り ・自分の気持ちや思いを伝える力を育てる ・絵本の読み聞かせや会話のキャッチボールを通した言語支援
本人支援	人間関係 社会性	・職員や友達と一緒に遊ぶ経験で思いやりや協調性を育てる ・順番を守る、役割を分担するなど集団活動の体験 ・不安や困りごとを相談できる安心できる環境づくり
家族支援		・家庭での生活や発達について相談に応じる ・家族と一緒に成長を見守る支援 ・食育や遊びの工夫など家庭でできる支援の情報提供
移行支援		・小学校生活に向けた準備支援（集団での活動、簡単な課題、生活ルールの理解など） ・個々の発達に応じた学習の土台づくり ・家庭と学校との情報共有を行い、スムーズな移行をサポート
地域支援・地域連携		・地域の保健・医療・福祉機関と連携し、必要な支援を提供 ・地域行事や交流活動を通して子どもと保護者のつながりを支援
職員の質の向上		・定期的な研修・勉強会で支援技術の向上 ・スーパービジョンやケース会議による実践力の強化 ・個々の特性に応じた最適な支援のための継続的な振り返り
主な行事等		・季節の遊びやイベント（お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分、ひなまつりなど）